

平成23年8月5日

松江市長 松浦正敬様

松江市総合計画検証委員会

委員長 武田信明

松江市総合計画前期基本計画の取り組みに係る意見

松江市総合計画【平成19年度～平成28年度】の前期基本計画に基づき実施した市の取り組み状況について審議し、その結果について意見をまとめたので提出します。

平成 23 年度松江市総合計画検証委員会意見書

松江市総合計画（平成 19 年度～平成 28 年度）に定める主要施策項目に対する前期 5 年間の取り組みについて、松江市総合計画検証委員会及び専門部会を開催し、審議したので、その意見の概要と結果について報告します。

第 1 審議の方法

総合計画検証委員会は、平成 19 年度策定した松江市総合計画を実行性の高い効果的な内容のものとし、松江市がめざすべき将来都市像を着実に実現するために、毎年各施策の進行管理を行う目的で設置された。

今年度は総合計画前期基本計画（平成 19 年度～平成 23 年度）の最終年度にあたることから、特に前期 5 年間の市の取り組みに対する委員の総括意見の集約を目的に実施した。

12 名の委員が 3 つの専門部会に所属し、「主要施策項目」に対する前期 5 年間の市の総括、主な取り組みや問題点について、事業担当課からの具体的な説明や事務局の取りまとめた資料等を基に前期の取り組みを把握し、意見をまとめた。

（1）松江市総合計画検証委員会〔平成 20 年 8 月 1 日設置〕

ア．委員名簿：別紙参照

イ．審議月日、回数：6 月 23 日、7 月 28 日（2 回）

（2）専門部会

ア．部会の構成

①都市部会（4 名）：武田部会長、紅花委員、清水委員、原田委員

②経済部会（4 名）：坪倉部会長、亀山委員、木村委員、玉木委員

③くらし部会（4 名）：マユ一部会長、小川委員、草野委員、原委員

イ．審議月日、回数

①都市部会：6 月 23 日、7 月 14 日、7 月 21 日（3 回）

②経済部会：6 月 23 日、7 月 8 日（2 回）

③くらし部会：6 月 23 日、7 月 8 日、7 月 14 日（3 回）

第2 審議の期間

平成23年6月23日（木）～平成23年7月28日（木）

第3 審議の対象範囲

松江市総合計画【平成19年度～平成28年度】中の前期基本計画のうち、第3部の第1章から第7章に掲げる主要施策項目（139項目）についての施策の展開方針や目標指標、及び第8章に掲げる重点プロジェクトと財政推計の取り組みを対象とした。

◆第1章～第7章については、専門部会⇒検証委員会

〔都市部会〕 第1章、第3章第1節と第2節の一部、第6章
（審議対象主要施策項目数）51
（目標指標数）89（H22年度：89）
（関係課）30課

〔経済部会〕 第2章第2節の一部、第5章、第6章第1節の一部、第7章第2節の一部
（審議対象主要施策項目数）31
（目標指標数）53（H22年度：53）
（関係課）16課

〔くらし部会〕 第2章、第3章第2項の一部、第4章、第7章
（審議対象主要施策項目数）57
（目標指標数）111（H22年度：110）
（関係課）35課

◆第8章については、検証委員会

- ・ 重点プロジェクト（定住の促進、松江開府400年祭の取り組み）
- ・ 財政推計

第4 審議の結果

(1) 第1章～第7章の主要施策項目 139 項目の進捗状況について

(a) 審議結果

①全体結果

A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を概ね達成した。 ・目標は達成（設定）していないが、取り組み内容は評価できる。 	89項目 (64.0%)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・予定通り事業は実施したと認めるが、満足できる成果が得られなかった。 	49項目 (35.3%)
C	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた努力が不十分 ・事業手法の改善が必要 	1項目 (0.7%)

②部会別内訳

意見		項目数（割合）			
		【都市】	【経済】	【くらし】	【全体】
A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を概ね達成した。 ・目標は達成（設定）していないが、取り組み内容は評価できる。 	20 (39.2%)	18 (58.1%)	51 (89.5%)	89 (64.0%)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・予定通り事業は実施したと認めるが、満足できる成果が得られなかった。 	30 (58.8%)	13 (41.9%)	6 (10.5%)	49 (35.3%)
C	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた努力が不十分 ・事業手法の改善が必要 	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)
計		51	31	57	139

(b) 所見

① 全体所見

- ・ 今年度は、総合計画前期の最終年度であり、例年のような単年度の事業評価だけでなく、5カ年の総括的評価を実施した。結果としては別表でも示したように全施策 139 項目中、A評価 89 項目、B評価 49 項目、C評価 1 項目となった。全体の 64.0%がA評価である点、逆に目標が達成されていないとするC評価がわずか1項目であった点から分かるように、総合計画の事業展開は全体的に高い評価を与えることができるかと全会一致で判断した。後期基本計画においても同様の高い評価が得られるように、努力と創意工夫を切望する次第である。

個別的に言うなら、「経済部会」における観光関連施策、「暮らし部会」における福祉・医療の充実に関する施策は、ほとんどの項目がA評価されるなど、特に高い評価を与えるべき事業であったと考えられる。

- ・ 一方、この5カ年の取り組みの過程で浮上した問題が存することも事実である。それを2点指摘しておく。

第1は、全体の項目数についてである。今回は主要施策 139 項目の検証を行ったわけであるが、3つの専門部会が分担して検証を行ったというものの、それぞれの専門部会で検討する分量は多く、個々の施策を十分に検討、審議するための時間が無かったのが事実である。多岐にわたる市の業務の検証方法や施策の体系化について検討する必要がある。

第2として、目標指数の設定の問題が挙げられる。検証の過程で目標数値の修正が行われたり、補足的な指標を追加する事例がままた見られた。このような取り組みが初めてであるという点、あるいは数値化に不向きな事業が多く存する点などは充分理解できる。しかし、外部の評価を受けるという意味においても、また事業達成度を市民にも分かりやすい形で提示するという意味においても、目標指数の設定は重要である。

上記2点は、今期の問題点であると同時に後期基本計画策定に向けて勘案していただきたいことでもある。

- ・ 最後に、今年3月の東日本大震災を受けて、松江市としても市民の安全・防災に関する施策の最重点化、あわせて、道路網や住宅の整備について、安心安全に繋がる効果的な施策の見直しを基本としつつ、地域産業への影響の観点も考慮した見直しが要求されるであろう。この点も後期基本計画策定にあたって、充分考慮していただくことをお願いしておく。

② 部会別所見

【都市部会所見】

- ・ 5カ年を概観するなら、比較的初期の段階にA評価となったものと5年間Bのままであったものの二つに大別される形となったと総括できる。具体的に言うなら、都市部会51項目中におけるA評価項目20のうち、初年次および第2年目においてA評価された項目は19項目と95%を占める。それを反映してか最終年度においても評価があがったのは、32項目中わずか1項目にとどまった。

- ・ しかしそれは、該当の施策・事業が十全に遂行されなかったということを示すものではないことをまず断っておきたい。計画期間を通じてA評価にならなかった項目が多く存する理由は、以下の2点だと推察される。
 - 1) 国や県との関係性が強い、つまり市単独では事業遂行が困難であるため。具体的には高速道路網の整備や国民保護計画などが挙げられる。これらは市の総合計画として項目化するのが妥当かどうかという検討を行うこと、さらに項目化するなら5カ年という短期間の中で成果の見えるような限定的事業指標を設定することが求められるだろう。
 - 2) 事業自体は計画通り遂行され一定の成果も認められるものの、目標指数に到達はしていないため。具体的にはゴミ処理関連の事業や、河川保全、公園緑地整備などの諸事業が挙げられる。ヒアリングにおいても、事業の順調な進捗や成果はうかがえるのであるが、目標指数との関連においてA評価にいたらなかったものが多く存した。事業の成果が顕著に示されるような目標の設定が求められると考えられる。

- ・ 以上の点から「都市部門」の事業活動を総括するなら、今期事業においては一定の評価をあたえうると判断される。しかしながら、目標指数そのものを変更したり、新たな目標を追加するなど、目標設定に問題を残したことも事実である。「都市部門」の事業は、市のインフラ部分に関連するものであり、多くは長期的な視野で評価しなければならないものである。それを理解した上で次期計画においては、長期的展望・短期的実現目標双方から目標指数を設定する必要があると考えられる。

【経済部会所見】

- 本部会は、所管する31項目について審議を行った。審議対象項目のうち昨年B評価とした22項目については、これまでの前期基本計画の5年間の取り組みは概ね満足できるものと判断して9項目をA評価とした。
しかしながら、計画期間を通じて慢性的な課題となっている事項も見受けられ、これらについては解決に向けて引き続き粘り強く取り組む一方、施策目的の更なる明確化と取り組みの再検討などにより、実効性が上がるよう一層の工夫をしていただきたい。
- 産業の振興については、計画期間を通じて農業の担い手育成が大きな課題となっている。事業効果が現れにくい分野ではあるが、集落営農組織化の促進など、取り組みが目指すビジョンを明確にし、実態に合った、より効果の見込まれる具体的な取り組みを行っていただきたい。
また、地域の特産品の推進についても販路拡大、地産地消の取り組みを継続しながらも、新たな産品の開拓も視野に入れて進めていただきたい。
- 新産業の創出や企業活動の支援については、企業誘致も順調に成果を残し、新たな松江ブランド「R u b y」の普及が図られ、次第に定着しつつあるなど評価できる。一方、R u b y以外にも「ものづくり産業」においてはまだまだ支援を必要とする分野があるのではないかと。特定のテーマに絞り込みすぎず、状況に合わせた幅広い視点で取り組みの効果を上げていただきたい。
- 観光の振興については、「開府400年祭」を総合計画前期基本計画の重点プロジェクトに掲げ積極的に取り組んでこられた結果、松江城の国宝化運動をはじめとする産学官民の総参加での成果が徐々に実を結びつつあると評価できる。この取り組みを無駄にすること無く、「開府400年祭」終了後も本市の産業の柱としてしっかりとした戦略のもとで「国際文化観光都市」のまちづくりを進めていただきたい。
- 広域連携については、この5年間の内に日・韓・ロ定期貨客船の就航や中国横断自動車道尾道松江線の整備予定時期の見通しが示されるなどの行政エリアを越える大きな出来事があった。今後は、広域的な取り組みでの本市のリーダーシップの発揮がより求められるであろうが、この機会を十分に活用し、本市が魅力のある山陰の中核都市となるよう取り組んでいただきたい。

【くらし部会所見】

- ・ 本部会は、所管する57項目について審議を行った。評価については、昨年度B評価であったが前期総括でA評価となった施策項目が14項目あり、取り組みの改善が更に進んでいる状況がうかがえる。中には、一部目標指標を達成しておらず、引き続き効果的な取り組みが必要な項目もあったが、主要施策、施策の展開方針の達成に向けた、市の各種取り組みについては概ね評価できたことから、部会審議対象項目の約9割をA評価とした。一方、B評価となった施策項目については、全て昨年度から引き続きのB評価であり、今後についても、事業のニーズや実施効果を意識しながら、継続的な取り組みをしていくことが必要である。
また、各施策に設定されている目標指標が、事業の効果や、達成度を表すのに相応しいものかどうか、今までとは違う視点からも見つめ直し、適正な目標指標の設定となるように、引き続き取り組んでいただきたい。
- ・ 教育文化の振興については、教育の内容・環境の充実、生涯学習や文化・スポーツ活動の振興に関連する様々な事業を展開してきたことにより、取り組みの効果が現れてきているが、今後は、学校教育・公民館において、それぞれの地域の特色を活かした内容を各活動に積極的に取り入れ、地域住民にとってより身近な施設となるような施策や事業の実施にも取り組んでいただきたい。
- ・ 福祉・医療の充実については、高齢者・障害者福祉や健康づくり、医療・子育て支援体制などの分野で、B評価の1項目を除き全てA評価となり、この分野に対して積極的に取り組まれている状況がうかがえる。引き続き、市民に対して各種の制度内容の情報を分かりやすく、また、実際にサービス等を必要としている人に伝わるように、事業の周知方法を更に工夫し、多様化する利用者ニーズの的確な把握に努め、より効果的な施策や事業の実施に取り組んでいただきたい。また、災害時地域で見守り助け合い事業については、個人情報開示の問題を整理し、昼夜を問わず発生する恐れのある災害に対して、支援体制が常時機能する組織、体制づくりをすすめていただきたい。
- ・ 市民と行政の協働については、市と市民が共通の認識を持ちながら、種々の課題に協力して取り組んでいくために、市が行っている施策や事業の内容を分かりやすく、より身近なものとして市民に情報提供し、同時に市民の持つ課題・問題を広く聴取していくことが必要となる。また、市と市民の協力体制の構築に向けて、基盤を強固なものにするためにも、自治会加入促進を図る効果的な施策を検討・実施するとともに、引き続き、協働に対する意識の更なる高揚を図り、協働事業をより一層推進していただきたい。

(2) 重点プロジェクト及び財政推計について

①全体所見

- ・ 総合計画の第8章に盛り込まれた重点プロジェクトと財政推計については、前期を総括する今年度に取り組み内容の報告を受け、全体所見の中で意見として付すこととした。
- ・ 「定住の促進」については、関連する主要施策項目を検証すると、「働く支援」「生み育てる支援」については、概ね高い評価となった。一方「住む支援」については、交通体系や住宅等の整備についてはB評価が多かったことから、後期計画に向けて一層効果的な施策を検討していただきたい。
- ・ 「松江開府400年祭の取り組み」については、経済部会の報告にもあるとおり、松江城の国宝化運動をはじめとする産学官民の総参加での成果が徐々に実を結びつつあると評価できる。この取り組みを無駄にすること無く、「開府400年祭」終了後も、まち歩き観光の推進をはじめとした観光振興を本市の産業の柱として、しっかりとした戦略のもとで「国際文化観光都市」のまちづくりを進めていただきたい。
- ・ 「財政推計」については、地方債残高の抑制及び基金残高の確保等に努力が見られる。社会的な情勢に左右されるが、将来にわたって安定的な財政運営を行っていくため、引き続き、行財政改革を進め、効率的な財政運営に取り組んでいただきたい。

平成23年度松江市総合計画検証委員会委員名簿

No.	氏名	所属及び役職	部会	備考
1	小川 渉	島根地域協議会委員	くらし	
2	亀山 律子	八雲地域協議会委員	経済	
3	木村 和夫	松江商工会議所専務理事	経済	
4	草野 武彦	策定時公募委員	くらし	
5	紅花 昌秀	(社)松江青年会議所JCビジョン委員会委員長	都市	
6	清水 麻衣	島根大学学生	都市	
7	武田 信明	島根大学教授	都市	委員長 部会長
8	玉木 克廣	くにびき農業協同組合代表理事専務	経済	
9	坪倉 公治	松江工業高等専門学校教授	経済	部会長
10	原 美江	松江市公民館長会	くらし	
11	原田 圭介	連合島根松江隠岐地域協議会事務局長	都市	
12	マユー あき	島根県立大学短期大学部教授	くらし	副委員長 部会長

(50音順、敬称略)

◆松江市総合計画検証委員会部会別意見

- 【A】・目標を概ね達成した。
・目標は達成(設定)していないが、取り組み内容は評価できる。
【B】・予定通り事業は実施したと認めるが、満足できる成果が得られなかった。
【C】・目標達成に向けた努力が不十分
・事業手法の改善が必要

【全体】

意見	139	割合
A	89	64.0%
B	49	35.3%
C	1	0.7%

【都市部会】

意見	51	割合
A	20	39.2%
B	30	58.8%
C	1	2.0%

【経済部会】

意見	31	割合
A	18	58.1%
B	13	41.9%
C	0	0.0%

【くらし部会】

意見	57	割合
A	51	89.5%
B	6	10.5%
C	0	0.0%

◆松江市総合計画検証委員会項目別意見

前期評価
 【A】目標を概ね達成した。
 ・目標は達成(設定)していないが、取り組み内容は評価できる。
 【B】予定通り事業は実施したと認めるが、満足できる成果が得られなかった。
 【C】目標達成に向けた努力が不十分

章	節	49の「基本施策項目」	139の「主要施策項目」 【専門部会審議単位】	総括表 ページ (各章の P)	実施 計画 ページ (各章の P)	所管 部会	部会意見 A～C	特記事項
1	1	1 自然環境の保全・活用	1 自然環境の保全と復元	1	1	都市	B	長期的な取り組みが必要であると思われるが、同時に成果がはかれるような短期的な指標の検討も必要である。
			2 自然環境の活用	1	3	都市	B	利用推進のための新しい企画をさらに検討する必要がある。
		2 循環型社会の構築	1 環境美化の推進	1	4	都市	A	きれいなまちづくり条例に関しては、人員拡大に対する課題の解決を行っていただきたいと思います。
			2 ごみの減量化・分別の推進	2	5	都市	B	一定の成果は認められる。しかし一方新しい分別システムも導入されたので、今後の成果を見守りたい。
			3 資源の有効利用の促進	2	6	都市	A	
		3 地球環境の保全	1 二酸化炭素の排出抑制	2	8	都市	B	一定の成果は認められる。しかし一方新しい分別システムも導入されたので、今後の成果を見守りたい。
			2 環境と経済の両立	2	9	都市	A	学校給食の着実な努力を評価する。全国的にも高水準であるなら、その資料も提示されてはいいか。
		4 市民参加	1 環境意識の高い人づくり	3	10	都市	B	くりんぴーすの抜本的な検討が必要である。
			2 行動できる体制づくり	3	11	都市	B	指標の目標達成率が低い。「市民会議」の設立意義や理念を再度、市民に向けて発信していく要あり。
		1	2	1 景観形成	1 良好な景観の保全・創造・継承	4	12	都市
2 公園緑地の整備	1 公園緑地の整備				4	15	都市	B
	2 緑化の推進			4	17	都市	B	
2	1	1 教育内容の充実	1 小中学校教育の充実	1	1	くらし	A	
			2 特別支援教育の充実	1	5	くらし	A	
			3 高等学校教育の充実	1	7	くらし	A	
		2 教育環境の整備・充実	1 学習環境・学校施設の整備	2	8	くらし	A	
			2 学校給食事業の充実と食育の推進	2	13	くらし	A	
			3 私学教育の充実・振興	2	14	くらし	B	専修学校を参考に、中学校・高等学校についても学校のPR等、支援の強化を検討していただきたい。また、専修学校の充足率についても指標で示していただきたい。
			4 高等教育機関との連携	3	15	くらし	B	より一層地元企業と学生との架け橋となり、地元就職率を高める努力をしていただきたい。
2	2	1 生涯学習の推進と青少年の育成	1 生涯学習の推進	3	16	くらし	A	
			2 公民館の整備と機能充実	3	18	くらし	B	各公民館の特色を活かし、幅広い年代の地域住民にとって身近な活動拠点となるよう機能充実を図っていただきたい。
			3 図書館をはじめとする生涯学習関連施設の機能充実	3	19	くらし	A	
			4 青少年の育成	4	20	くらし	A	
		2 人権施策の推進	1 人権施策の推進	4	21	くらし	A	
			3 国際交流の推進	1 諸外国との交流の推進	4	23	くらし	A
		2 国際理解の推進		4	24	くらし	A	
		3 国際化に対応したまちづくり		5	25	くらし	A	
		4 文化の振興	1 指定文化財の保存・活用	5	26	くらし	A	
			2 埋蔵文化財の保存・整備	5	28	くらし	A	
3 文化・芸術の振興	5		29	経済	B	行政が今以上にイニシアティブをもって施策を進め、発展的に取り組んでいただきたい。		
5 スポーツの振興	1 スポーツ振興	6	31	くらし	A			
	2 スポーツ施設の充実	6	33	くらし	A			

◆松江市総合計画検証委員会項目別意見

前期評価
 【A】目標を概ね達成した。
 ・目標は達成(設定)していないが、取り組み内容は評価できる。
 【B】予定通り事業は実施したと認めるが、満足できる成果が得られなかった。
 【C】目標達成に向けた努力が不十分

章	節	49の「基本施策項目」	139の「主要施策項目」 【専門部会審議単位】	総括表 ページ (各章の P)	実施 計画 ページ (各章の P)	所管 部会	部会意見 A～C	特記事項		
3	1	1 河川・水辺の整備・保全	1 治水事業の推進	1	1	都市	B	今後の重要な事業である。これまで以上に地域住民の意見聴取、他の都市計画との調整などに考慮されたい。		
			2 河川改修	1	2	都市	B	長期的・短期的双方の計画が必要である。次期計画では短期的部分の目標指数の設置も検討していただきたい。		
			3 浸水防止対策の実施	1	3	都市	A			
			4 土砂災害対策の実施	1	4	都市	B			
			5 河川環境の保全	2	5	都市	B	着実に計画が実施されており、ソフト・ハード両面において一定の成果も認められる。		
		2 危機管理体制の充実	1 防災体制の整備	2	6	都市	A			
			2 原子力安全対策	2	8	都市	B	今後抜本的な対策の変更がなされることが推測されるが、今期においては一定の成果があったと評価できる。		
			3 原子力防災体制の整備	3	9	都市	B	同上		
			4 国民保護計画の整備	3	10	都市	B	国や県の施策であり、市の総合計画で項目化することそのものの検討が必要。		
		3 消防・救急体制の充実	1 消防力の強化	3	11	都市	A			
			2 救急・救助体制の充実	3	13	都市	A			
		3	2	1 防犯対策の充実	1 防犯対策の充実	4	14	都市	A	
					2 交通安全対策の充実	1 交通安全環境の整備	4	15	都市	B
2 交通安全施策の推進	4			16		都市	A			
3 消費生活の向上	1 消費者の自立支援			4	17	くらし	A			
	2 消費生活相談			5	18	くらし	A			
4 市民相談体制の充実	1 市民相談			5	19	くらし	A			
4	1	1 子育て支援・児童福祉	1 在家庭児童への対応	1	1	くらし	A			
			2 保育サービス等の充実	1	2	くらし	A			
			3 就学前児童の教育・保育環境の充実	1	4	くらし	A			
		1 地域福祉の推進	1 地域包括ケア体制の確立	1	5	くらし	A			
			2 地域福祉の推進	2	6	くらし	A	「災害時地域で見守り助け合い事業」については、個人情報開示の問題を整理し、災害時に支援体制が機能する組織、体制づくりをすすめていただきたい。		
			2 高齢者福祉の充実	1 社会参加と生きがいづくり	2	7	くらし	B	老人クラブについては、加入者減少に歯止めがかかるよう、名称の変更等も含め時代やニーズに合うような新しいあり方を検討されたい。	
				2 介護予防の推進	2	9	くらし	A		
		3 介護サービス	2	10	くらし	A				
		3 障害者(児)福祉の充実	1 自立支援	3	12	くらし	A			
2 地域生活支援	3		13	くらし	A					
4 社会保障の充実	1 国民健康保険	3	14	くらし	A					
	2 国民年金	3	15	くらし	A					
	3 老人医療	4	16	くらし	A					
	4 生活保護	4	17	くらし	A					

◆松江市総合計画検証委員会項目別意見

前期評価
 【A】目標を概ね達成した。
 ・目標は達成(設定)していないが、取り組み内容は評価できる。
 【B】予定通り事業は実施したと認めるが、満足できる成果が得られなかった。
 【C】目標達成に向けた努力が不十分

章	節	49の「基本施策項目」	139の「主要施策項目」 【専門部会審議単位】	総括表 ページ (各章の P)	実施 計画 ページ (各章の P)	所管 部会	部会意見 A～C	特記事項
4	3	1 健康づくり	1 母子の健康	4	18	くらし	A	
			2 成人・高齢者の健康	4	20	くらし	A	
			3 市民参加による地域の 取り組み	5	22	くらし	A	
			4 感染症対策	5	23	くらし	A	
		2 医療体制の充実	1 地域医療体制の充実	5	25	くらし	A	
			2 救急医療体制の充実	5	26	くらし	A	
			3 松江市立病院との連携	6	27	くらし	A	
			4 医療費助成の継続	6	28	くらし	A	
5	1	1 農業の振興	1 多様な担い手の育成	1	1	経済	B	地域の将来ビジョンを明確にし、それに基づき具体的方策を立てて着実に取り組んでいただきたい。
			2 地域の特色ある生産構造の構築と地産地消	1	2	経済	B	販路拡大、地産地消の取り組みを継続していただきながら、新たな特産物の開拓も検討していただきたい。
			3 優良農地の確保と生産基盤の整備	1	5	経済	A	
			4 鳥獣被害対策	2	7	経済	B	
	2 林業の振興	1 担い手の育成と確保	2	8	経済	B		
		2 森林資源の保全と活用	2	9	経済	B		
		3 林道の整備	2	10	経済	A		
	3 水産業の振興	1 海面漁業の基盤整備	3	11	経済	B		
		2 漁業担い手の育成及び確保	3	13	経済	A		
		3 つくり育てる漁業の推進	3	14	経済	A		
		4 内水面漁業の振興	4	16	経済	A		
	4 工業の振興	1 地場産業の振興	4	17	経済	B	ここ数年同じ状況を聞き続けている。現在の取り組みが十分効果を発揮していなければ、他の産業も検討していただきたい。	
		2 新産業創出、起業化の支援	5	18	経済	B	Ruby以外に、他のものづくり産業でも支援を必要とする事業があるのではないか。ご検討いただきたい。	
		3 企業活動の支援	5	19	経済	B		
		4 企業誘致の推進	5	20	経済	A		
	5 商業の振興	1 地域商業拠点の振興	6	21	経済	B		
		2 中心商店街の振興	6	22	経済	B		
		3 商業者の育成	6	23	経済	B	本市の産業の柱である観光については、特に戦略を練り、効果的な対策をしっかりと練って実施していただきたい。	
	6 雇用環境の整備	1 安定した雇用の維持・創出	7	24	経済	A		
		2 勤労者福祉の充実	7	25	経済	A		

◆松江市総合計画検証委員会項目別意見

前期評価
 【A】目標を概ね達成した。
 ・目標は達成(設定)していないが、取り組み内容は評価できる。
 【B】予定通り事業は実施したと認めるが、満足できる成果が得られなかった。
 【C】目標達成に向けた努力が不十分

章	節	49の「基本施策項目」	139の「主要施策項目」 【専門部会審議単位】	総括表 ページ (各章の P)	実施 計画 ページ (各章の P)	所管 部会	部会意見 A～C	特記事項		
5	2	1 観光の振興	1 観光資源の活用	8	26	経済	A	松江城の国宝化運動をはじめ、官産学民の総参加で取り組んだ「松江開府400年祭」が徐々に実を結びつつある。400年祭の成果を総括できるようにしておいていただきたい。		
			2 テーマ性をもつ観光ルートの造成	8	31	経済	A	同上		
			3 情報発信の充実	8	32	経済	A	同上		
			4 外国人観光客の誘致	9	33	経済	A	同上		
			5 滞在型観光の推進	9	34	経済	A	同上		
			6 産業と連携した観光の推進	9	35	経済	A	同上		
			7 広域連携による観光の推進	9	36	経済	A	同上		
6	1	1 道路網の整備	1 生活道路の整備	1	1	都市	A			
			2 歩道の整備	1	6	都市	B			
			3 生活道路の維持管理	1	7	都市	B			
			4 幹線道路の整備	1	8	都市	B			
			5 広域幹線道路の整備促進	2	9	都市	B			
			6 高速道路の整備促進	2	11	都市	B			
6	1	2 交通体系の整備	1 バス交通の維持・充実	2	12	都市	B	バス離れが進む中でのソフト面のさまざまな努力は一定の評価が出来るが、利用客の取り込みにむけてさらなる工夫が求められる。		
			2 航空路の維持・充実	2	15	都市	A			
			3 鉄道の維持・充実	3	16	都市	B			
			4 航路の充実	3	17	都市	B			
		3 市街地の整備	1 中心市街地の整備	3	18	都市	B			
			2 拠点地区の整備	4	20	都市	A			
		4 港湾の整備	1 港湾の整備	4	21	経済	A			
		5 情報環境の整備	1 地域情報基盤の整備	4	22	都市	A			
		6	2	1 住宅等の整備	1 住宅宅地の供給	4	23	都市	B	
					2 市営住宅の整備	5	24	都市	A	
3 定住促進住宅の供給	5				25	都市	B			
4 安心ハウスの整備促進	5				26	都市	C	次期計画では、目標指数の見直しにとどまらず、事業の再検討していただくとともに、福祉分野における民間活力の導入については福祉部局の各種計画とも密接に関連することから、連携をより具体的に進められたい。		
5 空き家対策の推進	5				27	都市	B	条例の周知を図られ、効果的な運用に努められたい。		
2 上水道の整備	1 上水道の整備			6	28	都市	A			
	2 簡易水道の整備			6	29	都市	A			
3 下水道の整備	1 公共下水道の整備			6	30	都市	A			
	2 集落排水施設の整備			6	31	都市	A			
	3 公設浄化槽等の整備			7	32	都市	A			
4 墓地・斎場の整備	1 墓地の管理運営			7	33	都市	A			
	2 斎場の整備			7	34	都市	B	現状では十分な事業遂行がなされていると評価できる。ただ指標の設定がそれを十分反映していない面も見受けられる。工夫が必要か。		

◆松江市総合計画検証委員会項目別意見

前期評価
 【A】目標を概ね達成した。
 ・目標は達成(設定)していないが、取り組み内容は評価できる。
 【B】予定通り事業は実施したと認めるが、満足できる成果が得られなかった。
 【C】目標達成に向けた努力が不十分

章	節	49の「基本施策項目」	139の「主要施策項目」 【専門部会審議単位】	総括表 ページ (各章の P)	実施 計画 ページ (各章の P)	所管 部会	部会意見 A～C	特記事項		
7	1	1 市民と行政の協働	1 市民と行政の協働	1	1	くらし	A			
			2 町内会・自治会との連携	1	2	くらし	B	地域防災力向上の観点からも、自治会への加入促進に向けて、より効果的な施策を検討・実施していただきたい。		
			3 ボランティア団体・NPO法人との連携	1	4	くらし	A			
			4 市民活動の支援	1	5	くらし	A			
		2 男女共同参画社会の実現	1 男女共同参画施策の推進	2	6	くらし	A	審議会等の女性委員比率が高まらない理由を整理し、目標達成に向けて更に努力していただきたい。		
		3 開かれた市政の取り組み	1 広報活動の推進	2	9	くらし	A			
			2 広聴活動の推進	2	10	くらし	A			
			3 情報公開の推進	3	11	くらし	A			
		7	2	1 効率的な行政運営	1 行政の多元化・効率的な組織	3	12	くらし	A	
					2 人事管理、人材育成	3	13	くらし	A	
3 電子市役所	3				14	くらし	B	費用対効果を見極めながら、市民ニーズに合ったサービスの構築を図っていただきたい。		
4 行政評価	4				15	くらし	A			
2 財政運営	1 持続可能な財政運営		4	16	くらし	A				
3 広域連携・他圏域との交流	1 広域連携の推進		4	17	経済	A				
	2 他圏域との交流の促進		4	18	経済	A				